

平成 22 年 11 月 9 日

各 位

会 社 名 株式会社Eストアー  
 代 表 者 代表取締役 石村 賢一  
 コード番号 4304  
 問い合わせ先 取締役兼執行役員  
 コーポレートセンター担当  
 柳田 要一  
 T E L 03-3595-1106

## 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績と前年同期実績との差異に関するお知らせ

当社は、業績の予想を開示しておりませんが、平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 22 年 4 月 1 日～平成 22 年 9 月 30 日）の業績が、前年同期の実績値に比較して重要な差異を生じることとなりましたので、大阪証券取引所の開示規則に基づき、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1 平成 23 年 3 月期第 2 四半期累計期間業績と前年同期実績との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前年同期実績（A） （平成 22 年 3 月期第 2 四半期 累計期間業績）	百万円 1,773	百万円 275	百万円 278	百万円 162	円 銭 3,572 29
今回発表実績（B） （平成 23 年 3 月期第 2 四半期 累計期間業績）	1,973	289	293	159	3,592 64
増減額（B－A）	200	13	15	△3	—
増減率（%）	11.3	4.9	5.5	△2.1	—

#### 2 差異が生じた理由

当第 2 四半期累計期間につきましては、直販契約件数の順調な増加などにより、当社サービス全体での新規契約件数は 4,459 件、累計契約件数は 47,865 件となり、前期末に比べ 468 契約の減少となっておりますが、内訳としては、収益性の低い依存販路の各種サービスが 1,256 件減少したのに対し、収益性が高く流通（フロー）を伴う自社販路の店舗系サービスが 800 店増と順調に増加しており、堅調なストック（契約店舗数に連動）と順調なフロー（店舗の業績に連動）の拡大のための礎となっております。また、店舗運営の視点に立ったバックオフィス業務の軽減に繋がる機能追加などの施策を行っており、顧客店舗業績においては、受注数は 362 万回、流通額は 463 億円と、共に対前年同期比で伸張し約 110%となりました。

これらの結果、売上高は前第 2 四半期累計期間に比べ 200 百万円（対前年同期実績 111.3%）の増加となっております。

以 上